

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-245544

(43)Date of publication of application : 14.09.1999

(51)Int.Cl.

B42D 11/00

G07G 1/06

G07G 1/12

(21)Application number : 10-053200

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 05.03.1998

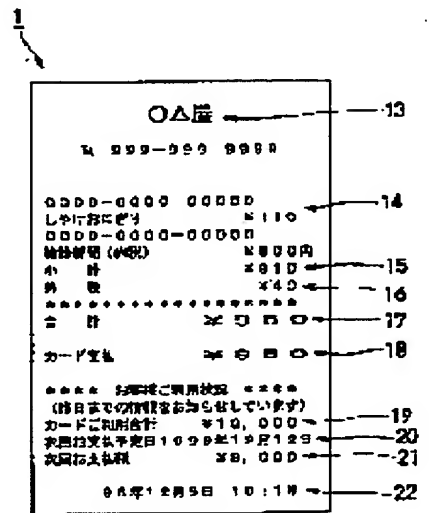
(72)Inventor : OSHIDA NORIYUKI

(54) RECEIPT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To accurately grasp the using state of a credit by a method wherein for a receipt which is handed to a patron when a shopping by a credit card is done, a column on which an unpaid total amount of the credit usage is displayed, is provided.

SOLUTION: For this receipt 1 which is issued by a printer connected to a POS terminal unit when a patron has done a shopping by a credit card, a store name column 13, a commodity code, a commodity name, a price column 14, a subtotal column 15, a tax amount column 16, a total amount column 17, and a credit using amount column 18 are printed. In this case, on the receipt 1, a credit using total amount column 19 where an unpaid credit using total amount up to the previous day is displayed, a next due date column 20, a next due amount column 21 where a next due amount up to the previous day is displayed, and a printed date column 22 or the like are printed. Thus, by displaying the credit using total amount up to the previous day on the receipt 1, the patron can easily grasp the using state of the credit card by adding a credit using amount for today.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-245544

(43) 公開日 平成11年(1999) 9月14日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

B 4 2 D 11/00

B 4 2 D 11/00

K

G 0 7 G 1/06

G 0 7 G 1/06

B

1/12

3 2 1

1/12

3 2 1 P

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-53200

(22) 出願日 平成10年(1998) 3月5日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 押田 憲之

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 弁理士 佐野 静夫

(54) 【発明の名称】 レシート

(57) 【要約】

【課題】 クレジット利用状況を正確に把握することができるように成したレシートを提供する。

【解決手段】 クレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートにおいて、未支払いのクレジット利用合計額を表示した欄19を設けたことを特徴とする。

1

○△屋		13
No. 0000-0000-00000		
0000-0000-00000		14
しやけおにぎり	¥110	
0000-0000-00000		
雑誌新聞(内税)	¥800内	
小 計	¥910	15
外 税	¥40	16
.....		
合 計	¥950	17
カード支払	¥950	18
**** お客様ご利用状況 ****		
(昨日までの情報をお知らせしています)		
カードご利用合計	¥10,000	19
次回お支払予定日	1999年12月12日	20
次回お支払額	¥9,000	21
98年12月5日 10:15		22

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 クレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートにおいて、未支払いのクレジット利用合計額を表示した欄を設けたことを特徴とするレシート。

【請求項 2】 クレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートにおいて、クレジット利用可能残額を表示した欄を設けたことを特徴とするレシート。

【請求項 3】 次回の支払い日における支払い額を表示した欄を設けたことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のレシート。

【請求項 4】 次回の支払い日を表示した欄を設けたことを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のいずれか一項に記載のレシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はクレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、クレジットカードの利用はますます盛んになりつつあり、特にサインレスでのクレジットカードの利用の普及により、日用品を購入する場合の利用率は非常に高まりつつある。クレジットカードによって買い物をすると、利用店名、商品コード、商品名、金額、利用日時等が表示されたレシートが発行され、顧客に渡される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のこの種のレシートには未支払いのクレジット利用合計額や利用可能残額が表示されていないため、顧客が買い物をする際にクレジットカードを利用可能であるか否かが判らない場合があり、不便であった。特に、日用品購入の場合にはカードを頻繁に使用するため、現時点でのクレジット利用合計額や利用可能残額を正確に憶えておくのは非常に困難である。

【0004】 本発明は、上述した問題点を解決するためになされたものであって、その目的は、クレジット利用状況を正確に把握することができるよう成したレシートを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 上述した目的を達成するために、請求項 1 の発明は、クレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートにおいて、未支払いのクレジット利用合計額を表示した欄を設けたことを特徴とするものである。

【0006】 また、請求項 2 の発明は、クレジットカードによる買い物の際に顧客に渡されるレシートにおいて、クレジット利用可能残額を表示した欄を設けたことを特徴とするものである。

【0007】 また、請求項 3 の発明は、請求項 1 または請求項 2 のレシートにおいて、次回の支払い日における支払い額を表示した欄を設けたことを特徴とするものである。

【0008】 また、請求項 4 の発明は、請求項 1 ～請求項 3 のレシートにおいて、次回の支払い日を表示した欄を設けたことを特徴とするものである。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の具体的な実施形態を図面を参照しながら説明する。図 1 は本発明の一実施形態であるレシート 1 の平面図、図 2 は図 1 のレシート 1 を発行するためのシステムの概略構成を示すブロック図、図 3 は図 2 のシステムによるレシート発行の手順を示すフローチャートである。

【0010】 図 2 に示すシステムは、顧客がクレジットカードで買い物をした際にレシートを発行するためのものであって、各店舗に多数の POS 端末 2、2、・・・が設置されており、これらを制御するために店舗毎にストアコントローラ 3 が設置されている。そして、これらのストアコントローラ 3 は通信回線及び FEP（フロントエンドプロセッサ）4 を介して情報センタに設置されたホストコンピュータ 5 に接続されている。

【0011】 POS 端末 2 は取引内容を入力するための入力装置を備えており、POS 端末 2 には、入力された取引内容を表示するためのディスプレイ 6、商品に添付されたバーコードを読み取るためのバーコードリーダ 7、クレジットカードの磁気ストライプに記録された情報を読み取るためのカードリーダ 8、現金を収納するキャッシュドロア 9、レシートの発行を行うプリンタ 10 が接続されている。

【0012】 FEP 4 はホストコンピュータ 5 の負荷を軽減するためのものである。ホストコンピュータ 5 は本システムの制御を行うもので、顧客毎にデータを格納する顧客データベースを備えており、この顧客データベースは、前日までの取引データに基づいて計算された各顧客毎の未支払いのクレジット利用合計額を管理する利用合計額マスタ 11 と、前日までの取引データに基づいて計算された各顧客毎の次回の支払い日における支払い額を管理する支払い額マスタ 12 とを有している。

【0013】 次に、本システムによるレシート発行の手順を図 3 のフローチャートに基づいて説明する。

【0014】 まず、店員が POS 端末に、商品コード、金額、支払い方法等の所定事項の入力を行う。なお、商品コード及び金額の入力は、商品に添付もしくは印刷されたバーコードラベルをバーコードリーダ 7 に読み取らせることにより行う（ステップ # 10）。

【0015】 そして、店員がクレジットカードの磁気ストライプに記録された顧客 ID 等をカードリーダに読み取らせる（ステップ # 20）と、POS 端末 2 は、これらの情報をホストコンピュータ 5 に送信し、当該クレジ

ットカードにより販売が可能であるか否かを照会する
(ステップ#30)。照会結果がNGである場合にはデ
ィスプレイ6にその旨が表示され(ステップ#40)、
処理が終了する。

【0016】照会結果がOKである場合には、利用合計
額マスタ11及び支払い額マスタ12が顧客IDに基づ
いて検索され、前日までの未支払いのクレジット利用合
計額及び次回支払い日における支払い額が読み込まれて
POS端末装置2に送信される(ステップ#50)。そ
して、プリンタ10が図1に示すようなレシート1を発
行する(ステップ#60)。

【0017】発行されたレシート1は、店名欄13、商
品コード、商品名、価格欄14、小計欄15、税額欄1
6、合計額欄17、クレジット利用額欄18、前日まで
の未支払いのクレジット利用合計額を表示したクレジ
ット利用合計額欄19、次回支払い日欄20、前日まで
の次回支払い額を表示した次回支払い額欄21、印刷日時
欄22等を有している。

【0018】このように、レシート1に前日までのクレ
ジット利用合計額を表示することにより、顧客がこれに
本日分のクレジット利用額を足すことにより容易にクレ
ジットカードの利用状況を把握することができるので、
便利である。また、これによって、カードの乱用も抑制
することができるという利点がある。また、次回支払い
日や次回支払い額が表示されているので、顧客の家計運
用の補助となる。

【0019】なお、本発明は上記実施形態に限定される
ものではなく、種々の変更が可能である。例えば、上記
実施形態では未支払いのクレジット利用合計額を表示す
るようにした場合について説明したが、利用可能残額を

表示するようにしても良い。利用可能残額は、与信枠か
ら未支払いのクレジット利用合計額を減算することによ
って求めることができる。また、上記実施形態では、前
日分までの未支払いのクレジット利用合計額を表示する
ようにしているが、前回利用分までの未支払いのクレジ
ット利用合計額を表示するようにしても良い。また、上
記実施形態では、本発明を、商品の代金の支払いをクレ
ジットカードで行う場合に発行されるレシートに適用し
た場合について説明したが、本発明は、サービスの代金
の支払いをクレジットカードで行う場合に発行されるレ
シートに適用することもできる。上記以外でも、本発明
の要旨を逸脱しない範囲で種々の変更が可能である。

【0020】

【発明の効果】以上説明したように本発明のレシートに
よれば、未支払いのクレジット利用合計額や利用可能残
額を表示する欄を設けたことにより、クレジットの利用
状況を正確に把握することができる。

【0021】請求項3、4に記載のレシートによれば、
次回の支払い日や支払い額を表示する欄を設けたこと
により、家計運用の補助となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施形態であるレシート1の平面
図。

【図2】 図1のレシート1を発行するためのシステム
の概略構成を示すブロック図。

【図3】 図2のシステムによるレシート発行の手順を
示すフローチャート図。

【符号の説明】

1 レシート
19 利用合計額表示欄

【図1】

1

OΔ店 13

☎ 999-999-9999

0000-0000-0000 14

レシートに付し ¥110

0000-0000-0000

前払金(内税) ¥800内

小 計 ¥910 15

外 税 ¥40 16

合 計 ¥950 17

カード支払 ¥950 18

..... お客様ご利用状況

【昨日までの借残をお知らせします】

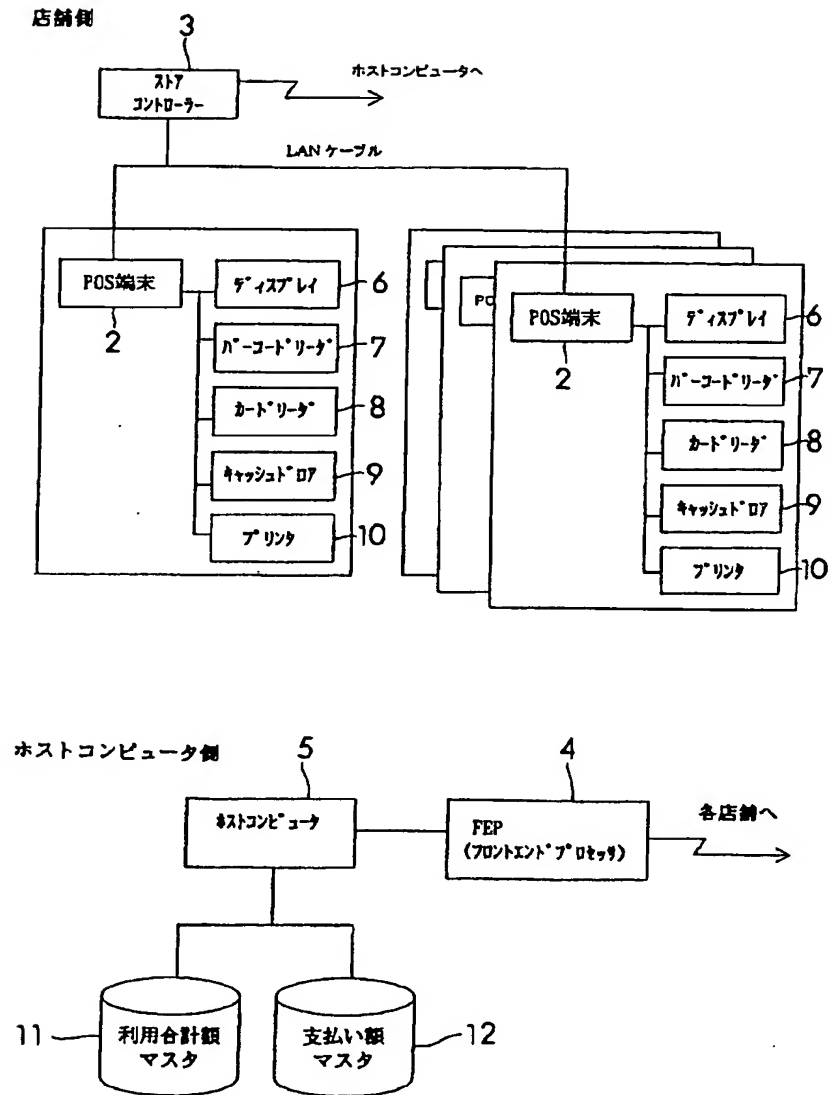
カードご利用合計 ¥10,000 19

次回支払予定日 9999年12月12日 20

次回支払額 ¥0,000 21

9999年12月5日 10:18 22

【図 2】



【図 3】

